

今後の半島振興の方向性(論点資料)

平成26年1月29日(水)
国土交通省国土政策局

半島地域の現状や半島地域をとりまく諸情勢を踏まえて、半島地域を振興する今日的な意義についてどう考えるか。

例えば、以下のような点が考えられるのではないか。

国土の多様性の維持につながる

我が国は、長い海岸線を有し、起伏のある地形の上に、大都市圏から農山漁村までを含む様々な地域が広がり、その上で津々浦々まで種々の営みが展開されている多様性ある国土である。そのことが、我が国の歴史と文化を形作ってきた。

半島地域は、その形成過程を反映した独特な地形・地質の上に豊かな自然景観が残されている。また、舟運中心の時代には、良好な港を有し繁栄した歴史があり、その遺産が残っている。これらは国全体にとって貴重な財産であり、半島地域は国土の多様性を維持する上で、重要な地域である。

都市住民や海外からの来訪者に貴重な文化や自然環境を提供できる

農山漁村や地方への関心が高まっている中、半島地域の豊かな自然環境、文化の厚みは、収穫される多種多様な農林水産物等の地域産品も相まって、国内の都市住民のみならず、海外からの来訪者にとっても魅力的であると思われる。

少子高齢化・人口減少時代における地域づくりのモデルとなる役割を果たす

我が国全体が人口減少の時代に入り、大都市圏においても高齢化が急速に進行すると見込まれる中、人口減少の時代における地域社会維持のための社会システムづくりが急務である。全国に対して高齢化、人口減少が先行して進行し、都市と農山漁村が共存する半島地域において共助社会づくりの実験的な取組がなされることにより、全国にとって有益な経験と知見が得られる。

2. 今後の半島振興施策を検討する視点

